

大阪総体高さ種目のバーの上げ方について（訂正）

近畿ユースでの欠員が出た場合の補充のため、各府県予選会での高さ競技のバーの上げ方を統一する必要があったのですが、競技注意事項作成時に失念していたため、近畿競技委員会での打ち合わせ通り下記のとおり訂正します。

- (3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。ただし、天候等の状況により跳躍審判長の判断で変更することもある。

走 高 跳	男子	1 年	1m65・1m80(練)	70	75	80	83	以後 3cm ずつ上げる
		2 年	1m70・1m85(練)	75	80	83	86	以後 3cm ずつ上げる
	女子	1 年	1m26・1m44(練)	31	36	41	44	以後 3cm ずつ上げる
		2 年	1m31・1m50(練)	36	41	44	47 50	以後 3cm ずつ上げる
棒 高 跳	男子	1 年	2m65 2m85 3m05	以後 10cm ずつ上げる				
		2 年	2m85 3m05 3m25	以後 10cm ずつ上げる				
	女子	1 年	2m07 2m27 2m47	以後 10cm ずつ上げる				
		2 年	2m27 2m47 2m67	以後 10cm ずつ上げる				

※練習の高さは選手の実力に応じて追加することがある

最後の一人となり、優勝者が決まるまでは、上記のバーの上げ方とする。

同記録による 1 位決定と近畿大会出場権を決定するバーの上げ下げは走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

男子棒高跳および女子棒高跳の練習は現地にて跳躍審判の判断により設定する。